

令和5年度「子どもの生活状況調査」【結果概要】

令和6年3月
神奈川県

1 調査概要

(1) 目的

本調査は、神奈川県内全域の中学2年生とその保護者を対象に、子どもの貧困の実態と課題を把握し、県ごとも計画の策定と施策検討に活用することを目的に実施した。

(2) 調査内容

- ①保護者票：生活の状況、就労状況、心理的な状況、暮らし向き、主観的幸福感、アフターコロナの生活変化など
- ②中学2年生票：学習環境・習慣、進学希望、食事の頻度、主観的幸福感、アフターコロナの生活変化、ケアラー状況など

(3) 対象者 住民基本台帳から層化無作為抽出法により抽出した中学2年生とその保護者
4,320組

(4) 調査期間 令和5年8～9月

(5) 回収結果

	配付件数	有効回答件数	有効回答率
保護者票	4,320件	1,715件	39.7%
中学2年生票	4,320件	1,585件	36.7%
うち、マッチング票※		1,547組	35.8%

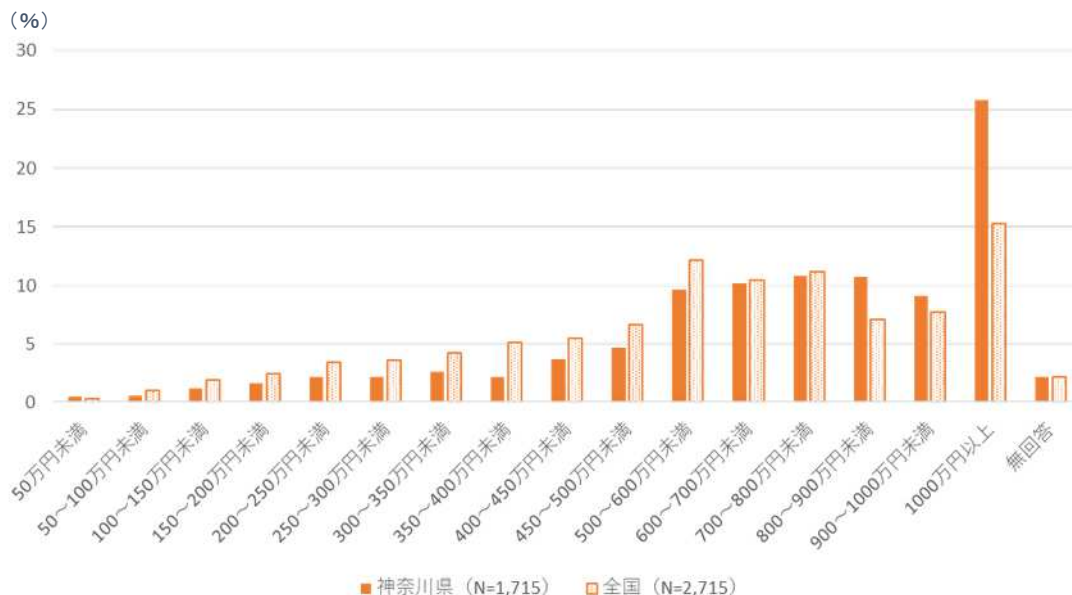
※マッチング票とは、中学2年生票と保護者票をIDで紐づけたものである。

2 調査結果

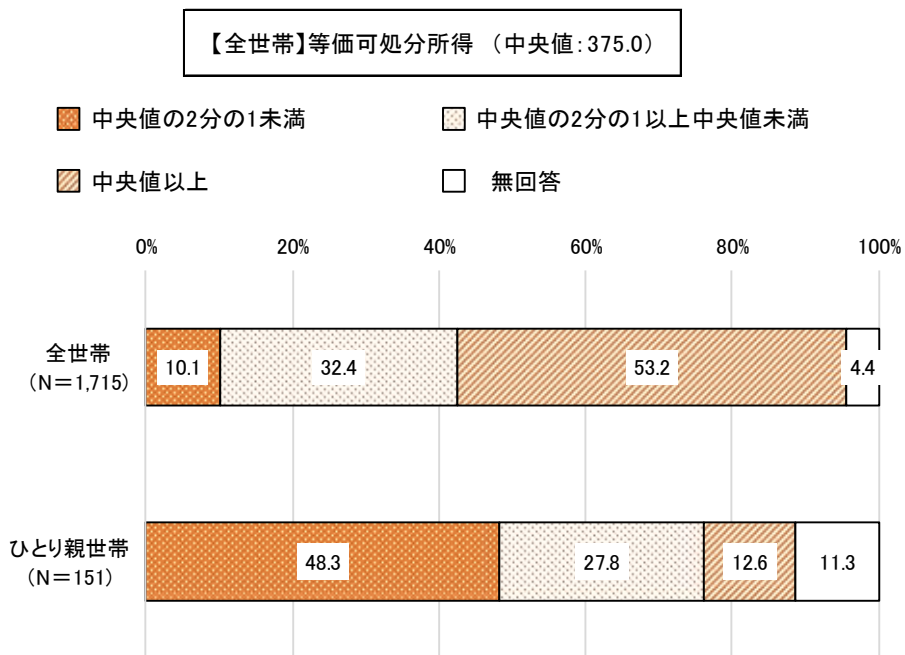
2-1 世帯全体の年間収入、等価可処分所得（神奈川県全体の中央値：375万円）

（保護者票 問21）

・世帯全体の年間収入は「1000万円以上」が25.8%で最も高く、次いで「700万～800万円」と「800～900万円」がともに約11%。全国調査と比較すると、「1000万円以上」では神奈川県が約10ポイント上回っている。



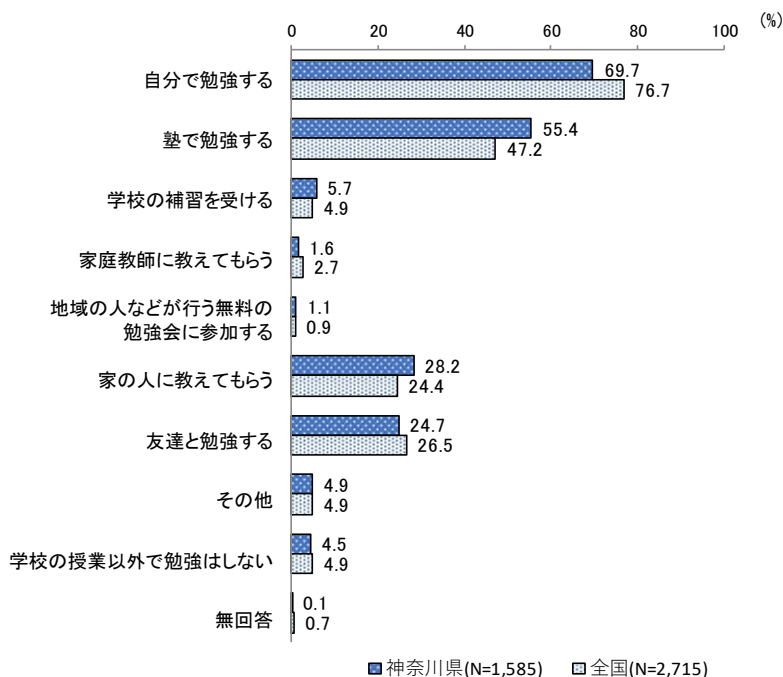
・等価可処分所得（神奈川県全体の中央値：375万円）の「中央値の2分の1未満」は全世帯で1割、ひとり親世帯で5割弱となっている。



2-2 学習状況（中学生票 問2）

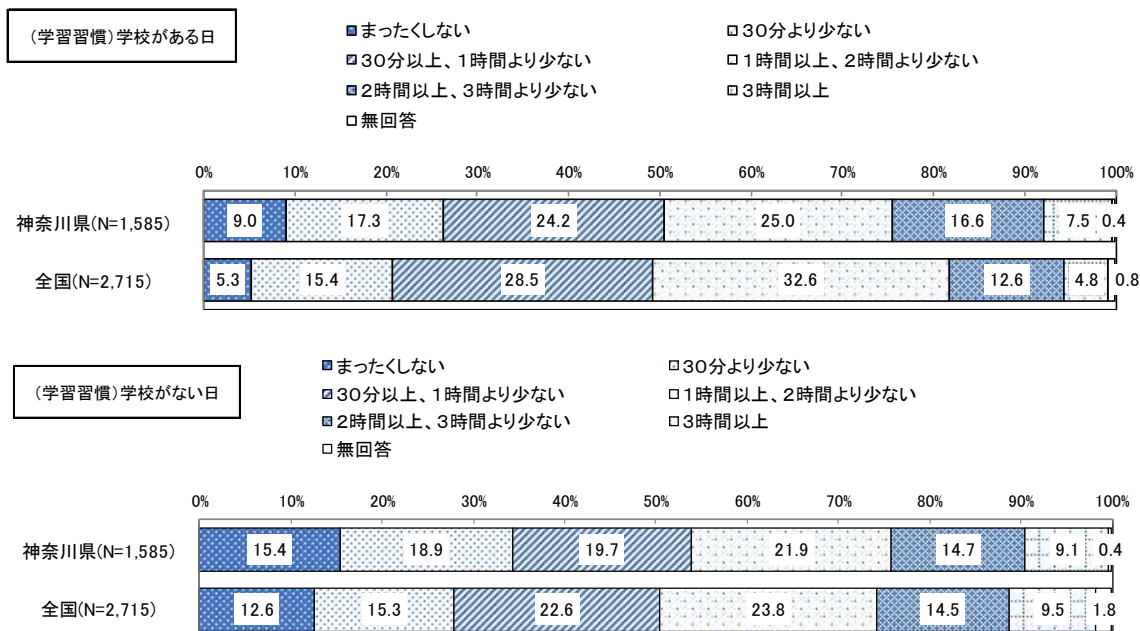
2-2-1 ▼ふだんの勉強の仕方

・ふだんの勉強の仕方は「自分で勉強する」が69.7%で最も高く、次いで「塾で勉強する」が55.4%、「家の人に教えてもらう」が28.2%となっている。全国調査と比較すると、「塾で勉強する」では神奈川県が約8ポイント上回る結果となっている。



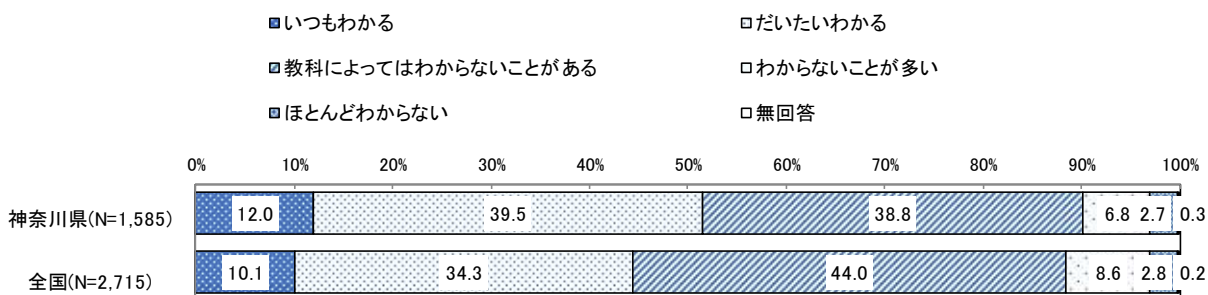
2-2-2▼1日あたりの勉強時間（中学生票 問3）

- ・学校がある日とない日ともに「1時間以上、2時間より少ない」がそれぞれ最も高くなっている。
- ・1時間以上の割合を全国調査と比較すると、学校がある日の神奈川県（49.1%）と全国調査（50.0%）は同程度となっている。また、学校がない日では神奈川県（45.7%）が全国調査（47.8%）を約2ポイント下回る結果となっている。



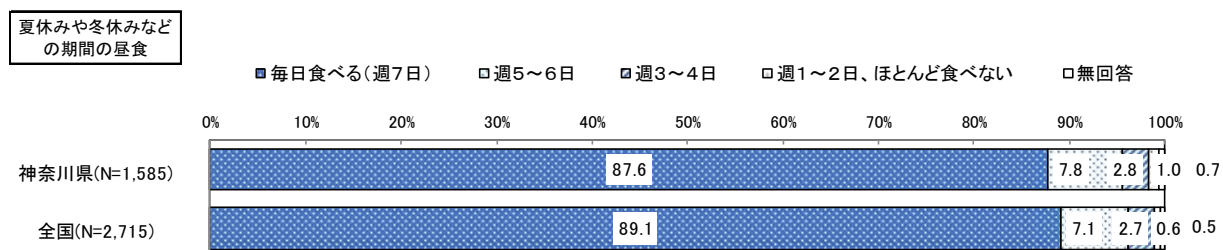
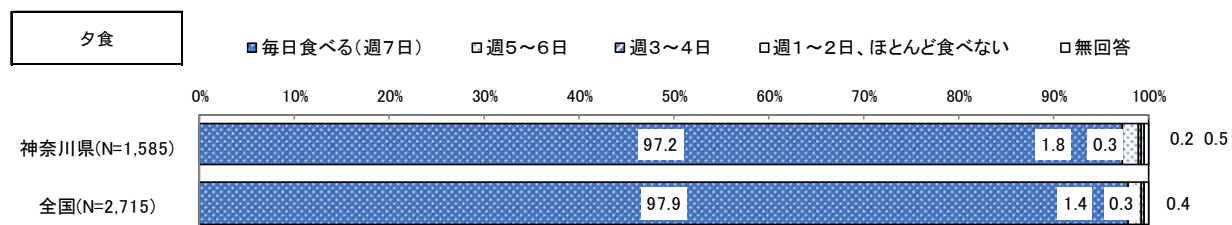
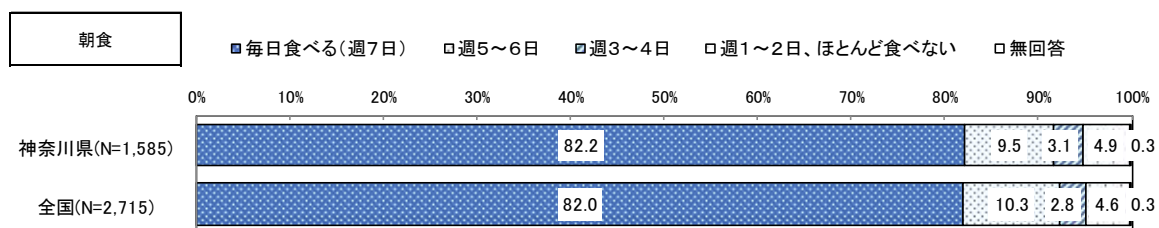
2-2-3▼授業の理解度（中学生票 問5）

- ・授業の理解状況は「だいたいわかる」が39.5%で最も高く、次いで「教科によってはわからないことがある」が38.8%となっている。【わかる】（「いつもわかる」と「だいたいわかる」の合計）の割合を全国調査と比較すると、神奈川県（51.5%）が全国調査（44.4%）を約7ポイント上回る結果となっている。



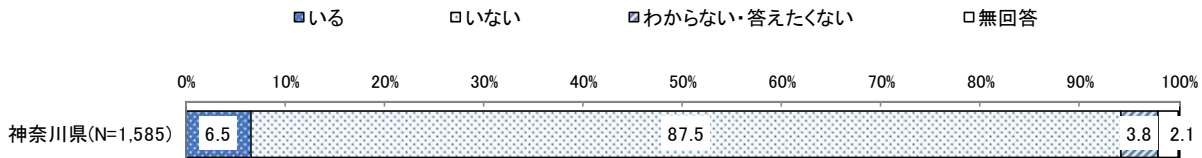
2-3 食事の状況 (中学生票 問 11)

- ・食事の状況について食事別にみると、「毎日食べる(週7日)」の割合は[夕食]が97.2%で最も高い。
- ・全国調査と比較すると、[夏休みや冬休みなどの期間の昼食]において、「毎日食べる(週7日)」の割合では神奈川県が約2ポイント下回っている。一方で[朝食]と[夕食]は同程度となっている。

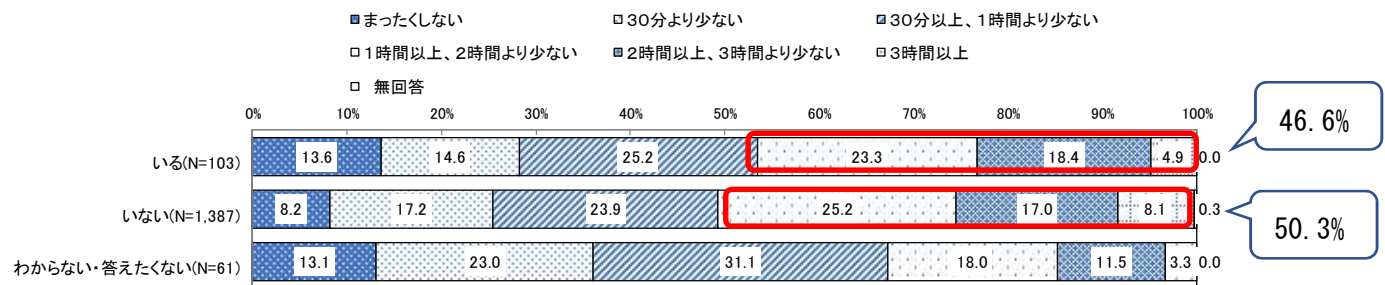


2-4 ヤングケアラー状況（中学生票 問 20）

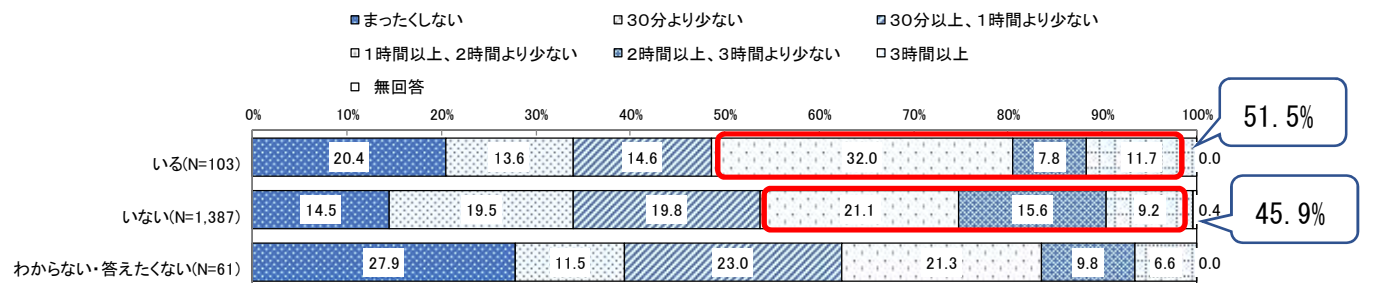
- ・家族の中で世話をしている人がいるかについては「いる」が6.5%
- ・ケアラー状況別に1日あたりの勉強時間をみると、1時間以上の割合は学校がある日ではケアラー状況の子どもが46.6%、ケアラー状況ではない子どもが50.3%となり、ケアラー状況の子どもが約4ポイント下回る結果となっている。
- ・一方で学校がない日の1日あたりの勉強時間をみると、1時間以上の割合はケアラー状況の子どもが51.5%、ケアラー状況ではない子どもが45.9%と、ケアラー状況の子どもが約6ポイント上回る結果となっている。



a. ケアラー状況 × 1日あたりの勉強時間（学校がある日）

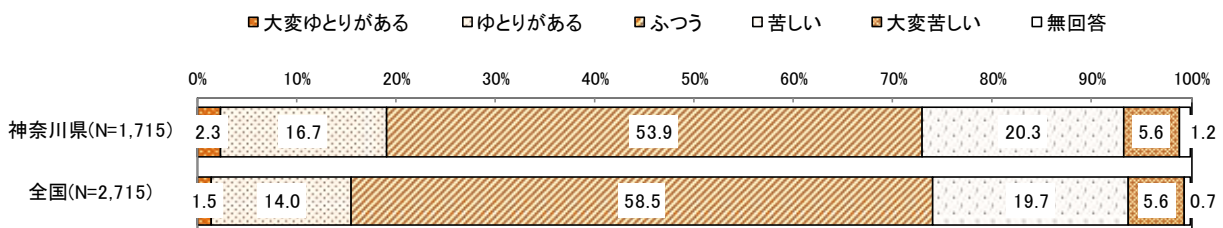


b. ケアラー状況 × 1日あたりの勉強時間（学校がない日）



2-5 保護者の暮らし（保護者票 問 18）

- ・現在の暮らしの状況は「ふつう」が53.9%、「苦しい」が20.3%、「ゆとりがある」が16.7%となっている。【ゆとりがある】（「大変ゆとりがある」と「ゆとりがある」の合計）の割合を全国調査と比較すると、神奈川県

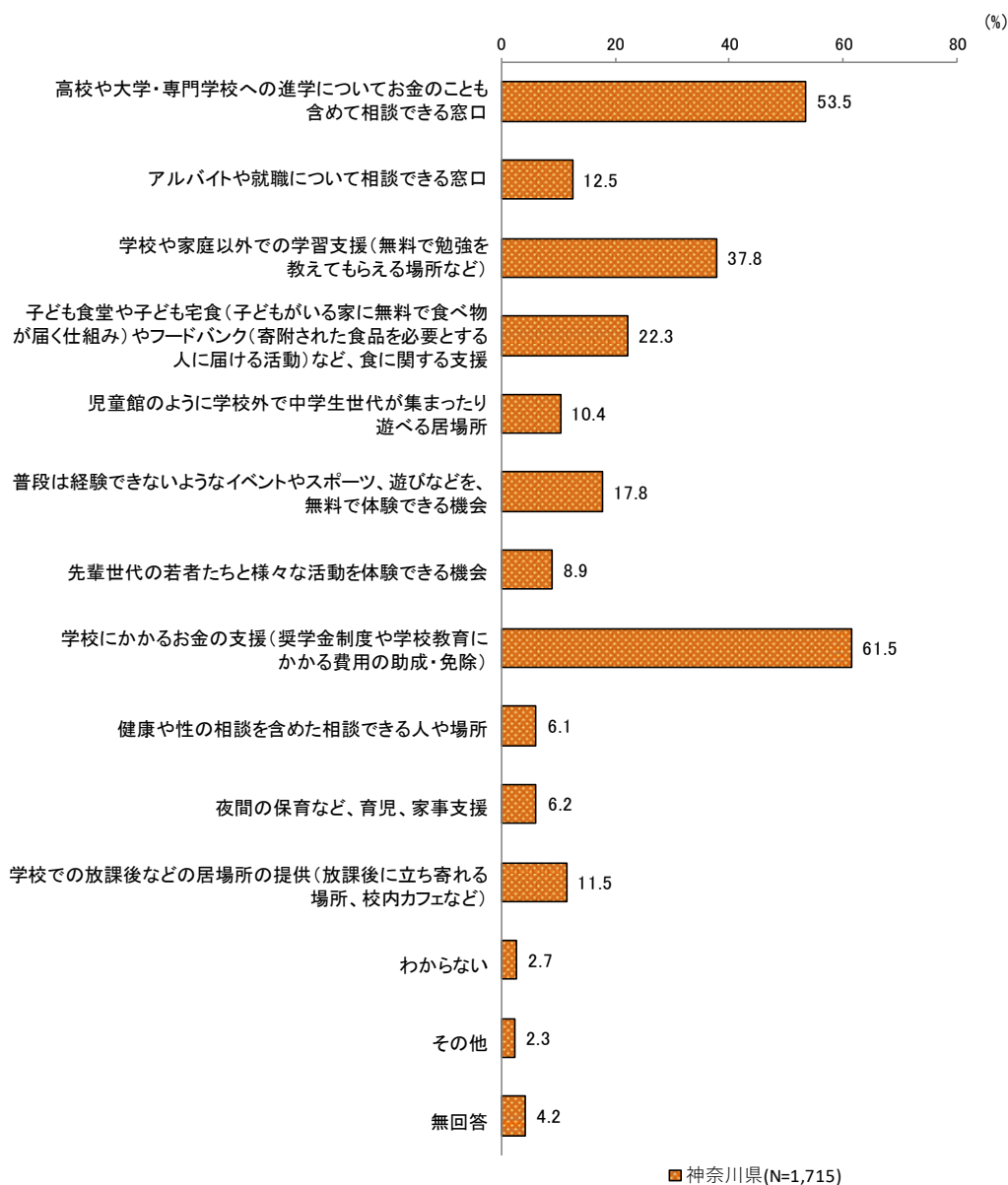


（19.0%）が全国調査（15.5%）を約4ポイント上回る結果となっている。

2-6 希望する行政支援（保護者）

保護者票問 28 あなたやお子さんが困難な状況にあるときに、どのような支援が必要だと思いますか。（特に必要だと思うものを3つ選択してください。）（複数回答形式）

希望する行政支援は「学校にかかるお金の支援（奨学金制度や学校教育にかかる費用の助成・免除）」が 61.5%で最も高く、次いで「高校や大学・専門学校への進学についてお金のことも含めて相談できる窓口」が 53.5%、「学校や家庭以外での学習支援（無料で勉強を教えもらえる場所など）」が 37.8%となっている。



2-7 希望する行政支援（中学生）

中学生票問 21 あなたが困難な状況にあるときに、どのような支援があったらいいと思いますか。（特に必要だと思うものを3つ選択してください。）（複数回答形式）

希望する行政支援は「高校や大学・専門学校への進学についてお金のことも含めて相談できる窓口」が 34.0%で最も高く、次いで「学校での放課後などの居場所の提供（放課後に立ち寄れる場所、校内カフェなど）」が 30.2%、「学校にかかるお金の支援（奨学金制度や学校教育にかかる費用の免除・助成）」が 29.1%となっている。

